

2023年10月10日
一般財団法人日本エネルギー経済研究所

エネルギーリソースアグリゲーション事業協会事務局の受託について

エネルギーリソースアグリゲーション事業協会（以下、「ERA 協会」という）の設立総会が10月6日に開催され、当研究所がERA協会から総会やワーキンググループの運営などの事務局を受託することとなりましたのでお知らせします。

我が国が目指す2050年のカーボンニュートラルを実現するため、より一層の再生可能エネルギーの拡大が求められています。しかし、そうした状況下でシステムの安定運用や発電された電気の時間帯シフトを進めるためには、需要側のダイヤモンドリソース・リソースや蓄電池などの分散型エネルギー供給力（DER：Distributed Energy Resource）の活用が不可欠となります。

これらのDERを有効活用するにあたっては、DERを集約（アグリゲート）して各種電力市場で活用する架け橋となるアグリゲーター（電気事業法上、特定卸供給事業者と呼ぶ）の役割がますます重要になってまいります。

このたび、DERをアグリゲートして電力市場で活用するためのルール作りは国際的にも発展途上の段階にあり、我が国でも同様のルール作りはこれからという側面が強いことから、その動きを加速化するためERA協会が設立されました。

当研究所はこれまでの調査研究や専門的な知見を生かし、ERA協会事務局として、エネルギーリソースアグリゲーション事業の発展と高度化に向けて協力してまいり所存です。

なお、アグリゲーション協会への参加にご関心のある事業者様におかれましては、下記のメールアドレスにご連絡いただきますようお願い申し上げます。

本資料の問い合わせ先：（一財）日本エネルギー経済研究所
電力ユニット
電話：03-5547-0221
メール：era@tky.ieej.or.jp

添付資料：エネルギーリソースアグリゲーション事業協会の概要

エネルギーリソースアグリゲーション事業協会の概要
(英文名：Energy Resource Aggregation Business Association)

1. 目的

エネルギーリソースアグリゲーション事業の健全な発展を図るとともに、分散型エネルギーリソース（DER）の活用を通じ電力需給の安定やエネルギーセキュリティの向上、カーボンニュートラルの実現に貢献し、我が国の経済と国民生活の向上に寄与します。

2. 事業内容

- (1) DER活用拡大のための調査研究および企画
- (2) DER活用拡大のための情報発信
- (3) 社会や政府への意見や要望の表明
- (4) 関係機関との交流及び連携
- (5) 会誌等の編集及び出版に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

3. 会員数〔参加予定を含む〕 ※10月6日時点

正会員 23社

賛助会員 51社

有識者会員 6名

4. 役員 ※50音順

- | | |
|-------|--|
| 会長理事 | E-Flow 合同会社（会員代表者：川口 公一） |
| 副会長理事 | 株式会社 Shizen Connect（会員代表者：平尾 宏明） |
| 理事 | 株式会社エナリス（会員代表者：小林 輝夫） |
| 理事 | エネルエックス・ジャパン株式会社
（会員代表者：小林 将大） |
| 理事 | ElectroRoute Japan 株式会社（会員代表者：谷 桂介） |
| 理事 | カスタマイズドエナジーソリューションズジャパン株式会社
（会員代表者：河原 伸自） |
| 理事 | デジタルグリッド株式会社（会員代表者：松井 英章） |
| 理事 | 電源開発株式会社（会員代表者：加納 正照） |
| 理事 | 東北電力株式会社（会員代表者：恩田 徳雄） |
| 理事 | 丸紅新電力株式会社（会員代表者：松田 明広） |
- ※監事については、別途選任を行う

5. 事務局

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所

* 協会への参加にご関心のある事業者様におかれましては、以下のメールアドレスへお問い合わせください。

era@tky.ieej.or.jp